



2023.4.18

## EuroLuce 2023 特別展示

Hélène Binet/エレヌ・ビネ. 自然、時間、建築

キュレーション・展示デザイン: マッシモ・クルツイ

4月18日～23日ホール11

現代写真の最も重要な作家の一人であるエレヌ・ビネの作品を、彼女の印象的な作品のアーカイブから、**自然光と建築、自然と時間の関係**についての独創的なセクションで紹介し、建築界の巨匠たちによる作品の物語(イメージ)として提示します。35年もの間、アナログの技法と厳格な方法で行われてきた写真研究の独創的で紛れもない詩学とこの芸術は、設計・建築された空間の特異な特質をいかに際立たせることができるかを実証するものです。

マッシモ・クルツイは「最も重要な建築作品における光と影の永遠の関係について、一貫性と頑固さをもって行われた並外れたモノクロ作品」とコメントし、エレヌ・ビネは「今回の展示のために、John Hejduk(ジョン・ヘイダック)の作品のような私の初期の写真から始まり、韓国の歴史的な建築物の最近の写真へと、イメージを選んできました。その意図は変わらず、繊細な連想、イメージの並置、影や静寂によって、見る人の想像力を刺激し、建築家の最初のスケッチからそう遠くない場所に連れていってくれることを期待しています」と述べています。

この展示スタンドは、常に驚きと異質さを伴う見本市会場の中で、一瞬足を休めリフレッシュする瞬間としてイメージされています。木製フレーム構造は、外側にサンドブラスト加工されたアルミニウム、内側にミッドナイトブルーのフェルトシートで覆われた**二重構造**、展示スペースの**内と外**の間に強い**コントラスト**を作り出しています。内壁に貼られたフェルトは、展示作品を際立たせるとともに、熱狂的で脈打つ外界と比較し、**時間の停止**を求めるような消音と静寂の音響状況を作り出します。柔らかいカーペットを敷いた床は、この空間的な質をさらに際立たせます。

現代写真の最も重要な作家の一人であるHélène Binetの作品を、オリジナルなセクションの画像を通して展示し、自然光と建築、自然と時間の関係を調査し、建築の最も重要な巨匠の作品のビジュアルストーリーを提示する。このインスタレーションは、展覧会期間中の一時停止と内省の時間をイメージしています。二重構造の本体は、外部はサンドブラスト加工されたアルミニウム、内部はミッドナイトブルーのフェルトシートで覆われ、「内」と「外」の間に強いコントラストを生み出しています。内壁に貼られたフェルトは、展示作品を際立たせ、また、熱狂的で脈打つ外界と比較して、時間の停止を求める消音と静寂の音響状況を作り出します。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it